

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第6回）議事概要

日 時 令和元年 11 月 13 日（水） 14：00～16：00

場 所 市役所 3 階 3-3 会議室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 平石 美佐子会長
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会长
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会长
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会长
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会长
売布小学校区まちづくり協議会 （代理）笹田 光治副会長（会長代行）
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会长
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会长
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 久保田 久男会长
中山台コミュニティ 畑中 康治会长
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会长
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会长
市民交流部 古家部長、上田室長、新城課長
市民協働推進課 吉岡課長、山田係長 他
企画経営部 津田室長
政策推進課 湯川課長、野元係長
職員課 横山課長 他
地域福祉課 山崎係長
せいかつ応援センター 藤森氏
社会福祉協議会 近藤氏
関西総合研究所 宮本氏 他
OM環境計画研究所 大森氏 他
宝塚NPOセンター 馬越氏
傍聴 9 人

議事概要（要旨）

- 1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第4回、第5回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第4回、第5回）議事概要の確認が行われ、ホームページへの公開が承認された。
- 2 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて
(1) 各まちづくり協議会代表者から、地域ごとのまちづくり計画の見直しに関する取組状況、前月に実施した「地域ごとのまちづくり計画見直し情報共有会議」を踏まえた今後の取組予定、その他良かったこと、困っていることなどについて、ご報告いただいた。
概要については、以下のとおり。

【良元】

ア 素案は完成した。12/25 の理事会で承認を得て、関係各所に印刷物又はホームページで住民に意見を求める。また、1/25 にくらんど人権文化センターで地域住民への説明会を実施して意見を求める。

【西谷】

ア 11/19 に、各担当分科会の座長、コンサルタント及び市の担当の方など 12 名ほどで打ち合わせを行い、最終形に近づけていきたい。

イ また、計画書だけでなく、次年度実際に動くことができる体制を作っていきたい。

【売布】

ア 10 月のまちづくり協議会代表者交流会のワークショップ以降の動きとして、10 月末に自治会長に対して意見聴取を実施した。11/2 にネットワーク会議でワークショップを実施。その後、11/11 にまちづくり協議会の経営企画会議でまとめ、11/14 のまちづくり協議会の役員会で最終決定をする予定である。残るは「あとがき」程度だと考えている。

【末広】

ア 10 月の会議は台風で実施できなかったため、11 月に実施した。各施設について具体的にこうしてほしいと記載した項目について、市から担当者が来てご意見をもらったところ、会議の中で実施可能と言われたものは無かったため、具体的な施設を出して要望するということではできないという判断をしている。その対応策として、具体的なことが出てきた場合は、その都度担当部局と話し合うことで解決に向けて努力する方法に改めようとしている。この件については、再度、内部で議論する。

イ 新しい取組について実施する担当部は決めているが、実施時期及び機関についても決めていく。

ウ 「はじめに」と「あとがき」の記載も行う必要がある。

エ 地区ごとにパブリックコメントを実施するための準備も早急に行わなければならない。

【安倉】

ア 計画については、11/1 の役員会でほとんど完成した。「あとがき」についてはこれから記載していく。

イ 地域住民だけでなく事業所も交えたまちづくりについて具体的に記載していかなければならないと思う。

ウ 計画に記載のないことであっても、随時問題が上があれば、その都度対応していけばよいと個人的には考えている。

【高司】

ア 中間報告時点の計画書を見直しながら検討を行った。

イ 短い期間でもできるものと 5 年はかかるものとを分けていったところ、5 年以上かかるものが多かった。現在のまちづくり協議会の役員は高齢であるため、長い期間を要するものは計画の最後まで関わり続けることは難しいという話も出た。

ウ バスの運行などの大きな問題は自分たちだけではどうにもならないので市に関わってもらいながら進めていきたい。

【宝小】

ア これまでにワークショップを 17 回実施してきている。第 17 回目は、11/9 に拡大ワークショップを実施し、企業・事業所の方約 20 社に来てもらった。

イ ワークショップでの意見に加え、小中学校の児童、先生方、商店街の方、企業の方などの意見を集めることができている。住民の方の意見をどのように集めるかを検討中。

【ゆずり葉】

ア まちづくり計画を具体化するための推進会議を 6 月から毎月開催し、フォローアップのための話し合いを行ってきた。今年の 6 月に再度、各関係団体の代表者へアン

ケートを実施した。この内容についてはゆずり葉だよりに掲載し、住民に知らせている。

- イ 毎年、総会資料としてまちづくり計画に対する現状を添付している。
- ウ 今後の予定は、これまでの作業経過を経て、まちづくり計画案を12/1の役員会にて説明し、承認を得たいと考えている。
- エ 逆瀬台はがけ崩れの危険区域に指定されている箇所があり、災害時に開設されない避難所が多いため、10月に行われたまちづくり計画見直し情報共有会議にて、コミュニティ西山の久保田会長に災害時の協力体制をお願いしている。今後、まちづくり協議会同士の交流の中でこういう問題を一つ一つ解決していきたい。

【ひばり】

- ア 中間報告の時点では細かくまとめていなかったが、現在はある程度まとまってきている。
- イ 住民にアンケートを出している。
- ウ 取組を簡潔にまとめたものを12月頃に自治会単位で見てください、計画の方向性について認識してもらおうと考えている。
- エ 1月中に皆さんの意見をまとめ、3月末までにまとめたい。

【すみれ】

- ア 中間報告についてまちづくり協議会のメンバーに説明した上、中間報告を補完していく形で進めている。プロジェクト会議が今月と来月に開催予定であり、そこでほとんど完成する予定。年末に完成版をコミュニティの皆さんで確認した後、皆さんのコメントを反映した形で修正し、3月末には完成の予定。

【小浜】

- ア 施設について細かい名称は出さずに「公共施設」という記載とし、具体的な部分は関係課と話し進めていく形とした。
- イ 現在、文言について問題となっている部分が2か所ある。この部分の整理ができれば12/14の理事会で皆さんに報告する予定。

【仁川】

- ア 10/28に活動委員会、10/31に常任評議委員会が開催され、色々な意見が出た。
- イ 防犯防災については課題がたくさんあるため、できるだけ集約して皆さんに分かりやすい形にもっていききたい。
- ウ 地域の状況に合わせた文章で分かりやすく説明するようなことができるようできるだけとりまとめていきたい。

【一小】

- ア 10/19にプロジェクトチームの会議を開き、次のステップに進めるための意見交換を行った。
- イ 11/6に宝塚の公会堂で、地域団体を集めて中間報告、進捗状況の説明及び重点項目についての意見交換を行った。また、平日に来ることができない方のために、11/17に再度、説明及び意見交換を行う予定である。
- ウ 10/26に校区の合同防災訓練を行った。地区防災と校区の合同防災訓練をどう結び付けて今後につないでいくかという点、また、地区防災の組織をどのように実際に役立つものにするかという点が大きなテーマである。

【光明】

- ア 12月に意見を投げかけ、その集約を1月末までにするため、今週の役員会で承認を得て地域に配りたいと考えている。また、12月に3回ほど、時間帯や曜日を変えて説明会を開く予定である。加えて、出前の説明会の募集についてまちづくり協議会の広報誌で行い、要望があったところには説明に行く予定である。

【すえなり】

- ア 12/15に全体会と同時に常任評議委員会を開き、計画素案を報告する。現在、それに向けて中間報告をブラッシュアップする形で検討を行っている。具体的な取り組みは一切触らない。

- イ 12/15の常任評議委員会で了解を得た上で年内に素案を固め、1月以降、地域にまちづくり計画を広報し、意見を求めていく予定であるが、パブリックコメントをどういう形でやるかはまだ悩んでいる状況である。

【西山】

- ア 9/22に第9回の委員会を実施。全体構成を提示してご意見をいただいた。
- イ 9/20に野上児童館の運営委員会に出席し、子どもの安全や子育ての文言についてご意見いただくよう依頼した。
- ウ 11/24に第10回の委員会を開き、全体構成について引き続き検討していく。

【長尾】

- ア 長尾地区まちづくり計画案として全戸配布し、10/30に意見聴取を行った。10/30は2名お越しになり、1名の方の意見は宗教に関わる問題のため難しい旨説明し納得いただいた。もう1名の方は、歩きたばこの防止に関する事について計画に入れてほしい旨の意見であった。この意見について10月以降に検討し1月末までに決定したいと思っている。

【中山台】

- ア 10月に第14回目の見直し会議を実施し、素案が完成した。それを11/10に各自治会長の集まる評議委員会で説明し、各自治会にその素案を持ち帰ってもらった上、各自治会で意見集約をしてもらい、提出してもらおう予定である。意見集約の方法については各自治会にお任せしている。
- イ 1月中には印刷を行うことができると考えている。

【美座】

- ア これまで話し合いが十分できていなかった子育て世代の方の意見をお聞きするため、10/12にPTAの方及びネットワーク会議の委員の方に美座小学校に集まってもらい、中間報告を提示した。いきなり全体を見ていただくことは難しいため、子どもの見守りにポイントを絞って意見をお聞きした。お聞きした意見を基に11/16の役員会で提示し承認を得ていく予定である。
- イ 12月又は1月に身体障害者のネットワーク会議を実施の際、中間報告を提示して意見を聞く予定である。

(2) 意見交換

- ア ご協力いただいているコンサルタントの方には、我々ではまとめきれないことをまとめていただいている。感謝申し上げたい。
- イ 公共施設については、個別に話し合っ解決していく形で進めていくしかないと思う。
- ウ 人権に関する文言について意見が割れており、頭を悩ましている。

(3) 地域ごとのまちづくり計画書の形式について

市民協働推進課から、配布資料に基づき、同形式について説明があった。
出た意見は以下のとおり。

【意見概要】

- ア 語尾について、文章部分については各まちづくり協議会で「です・ます」調か「だ・である」調で統一いただき、「具体的な取り組み」部分は「体言止め」や「だ・である調」など現状の記載でかまわないと思う。
- イ 先般の情報共有会議で、まちづくり協議会同士の連携について話をする事ができたが、それを具体化するために計画のどこに盛り込んだらいいか。例えば、防災訓練を協働でやろうとしたとき、どのように記載すればよいか。
- ウ 具体的な取り組みの項目として記載してもよいし、備考欄で記載してもよいと思う。
- エ 連携して行う取組の場合は、それぞれのまちづくり協議会の計画に忘れずに記載してもらう必要がある。
- オ 連携が必要なまちづくり協議会は個別に話し合っていただいて、漏れがないように作成していただけたらよい。

- カ フォーマットの矢印についてどのようにとらえるか。「続ける」という意味なのか、「～までに達成する」という意味なのかが分からない。
- キ 備考欄に矢印の意味について記載している。
- ク 備考欄を使って記載する方法を取り入れていきたい。各まちづくり協議会で誤解を招かないよう備考欄をうまく活用いただけたらよい。
- ケ 「はじめに」についてどんなことを書くのか。この点について皆さんに意見をいただきたい。
- コ 地形、歴史、まちづくり計画をどんな形で作ったかという思いなどを記載している。
- サ コミュニティの経過や概略を記載してもよいのではないか。
- シ 「現状と課題」で記載されている内容とかぶる部分もあるのではないか。
- ス まちづくり協議会の成り立ちについてははじめに記載がないと、まちづくり協議会が何かということをおぼえていない方が理解できない。また、他に、まちづくり計画とは何か、作成経緯などを「はじめに」に記載している。
- セ どんなことを書くのかについて各まちづくり協議会で検討していただけたらと思う。
- ソ 読みたいと思ってもらえるように記載することが必要である。
- タ 実際に計画を実行するのは次の世代。次の世代に我々の思いやスタンスが伝わるようなメッセージが書けたらと思う。
- チ 思いの部分が一番大事だと思う。
- ツ 「まちづくり協議会とは何か」という説明が必要になってくる場面がよくある。そういうところも含めて考えていけたらよい。

(4) 地域カルテ更新版について

市民協働推進課から、同更新版について、コンサルタントを通じて各まちづくり協議会に提供する旨、説明があった。

3 第6次宝塚市総合計画について（政策推進課）

政策推進課から、配布資料に基づき、第6次宝塚市総合計画について説明があった。出た意見は以下のとおり。

【意見概要】

- ①今後の主な予定として、12/25に総合計画における「地域ごとのまちづくり計画の記載内容について検討する」とあるが、「まちづくり協議会の意見が反映された箇所」ということがわかるような表記があれば、地域は活性化すると思う。
→市：どのような表現になるかは未定ではあるが、地域の方が作った計画であることがわかるようにはしたいと思っている。
- ②地域から出た意見であることが一目でわかるように「マーク」など用いても良いのではないか。
→座長：今回の宝塚市総合計画の中に「地域ごとのまちづくり計画」の「地域の将来像」、「基本目標」が記載される。
- ③1まち協につき、1ページの「まちづくり計画」記載量では、地域の「思い」が伝わらないのではないか。
→市：多くの市民の方の手に取っていただけるよう、できるだけ簡素でシンプルな総合計画を作ろうとしている。これは、今回の総合計画のコンセプトの一つでもある。ただ、地域の「思い」が入らないと苦労して作っていただいた計画も生きてこない。1ページでは「思い」がどうしても伝わらないということであれば、ページを増やすことも考えないといけないが、できるかぎり1ページの中で「思い」も詰まったものになるよう編集したいと考えている。
- ④資料5ページ(1)の内容に「地域ごとのまちづくり計画」という言葉を入れていただきたい。また、6ページ(4)に「人権・同和、男女共同参画」の記載があるが、「多様性の理解」や「多文化共生」といった文言の方が良いのではないか。
- ⑤より広い視野の計画もありうるのではないか。

→市：世界の経済情勢や市の現状など大きな視点を踏まえての検討も行っている。
⑥資料 2 ページ、4 ページの内容として、「タカラ ミライ ラボ」提言書のことだけでなく、「地域ごとのまちづくり計画」についての記載も必要ではないか。
→市：皆様のご意見を頂戴し検討していく。

4 夜間・休日の学校への電話について（職員課）

職員課から、夜間・休日の学校への電話について説明があった。
出た意見は以下のとおり。

【意見概要】

①自動音声案内の中に緊急連絡先を入れる予定なのか。

→市：次回の勤務適正化委員会で意見をいただき、その他の運用上の課題も含めて改善していきたいと考えている。

②勤務適正化委員会に諮るまでもなく、緊急連絡先の電話番号を入れてもよいのでは。

③緊急時の体制を整えなければならない。

④口頭だけでなく書類で説明いただくことをお願いしたい。地域へ持って帰っても役員会等で説明しにくい。

→市：文書にして提出させていただく。

⑤自動音声は冷たく感じる。「働き方改革」はわかるが、人に対応いただくことが、教育の場では大事なのではないか。保護者はわかっているのかもしれないが、地域の人々からすると一方通行のように感じる。

⑥自動音声は、緊急対応できない。その辺は考えていただかないといけない。

⑦サービスの低下が起きている。新しい仕組みを考える時には、サービス低下が起これないよう考えてほしい。

⑧次回の代表者交流会にて、文書で改善策を提示いただき、早急に対応していただきたい。

5 令和元年度第 1 回宝塚市セーフティネット会議の報告について（地域福祉課）

地域福祉課及びせいかつ応援センターから、令和元年度第 1 回宝塚市セーフティネット会議について報告があった。

出た意見は以下のとおり。

【意見概要】

①せいかつ応援センターの連絡先について、記載されたチラシはあるか。

→生活応援センター：ご用意してお渡しいたします。

6 歳末助けあい愛の持ち寄り運動へのご協力について（社会福祉協議会）

社会福祉協議会から、配布資料に基づき、歳末助けあい愛の持ち寄り運動へのご協力をお願いについて説明があった。

7 市民協働推進課からのお知らせ

下記(1)～(3)について、資料を用いるなどして周知があった。

(1) FM宝塚出演結果及び予定

令和元年 11 月 5 日（火） 宝塚小学校区まちづくり協議会

令和元年 12 月 11 日（水） 安倉地区まちづくり協議会

(2) 市民と市長のテーブルトークについて

(3) 市民活動促進支援事業について

令和元年度補助金・助成金一覧の配布

8 その他

市民協働推進課から、まちづくり協議会啓発グッズ（色鉛筆 100 セット）について、活用する場合は持ち帰り可能である旨、案内があった。

9 今後の日程

次回日時：令和元年（2019年）12月11日（水）14：00～16：00

場 所：未定